

# 2021.12.8~2022.3.6 開館20周年記念企画展

## 共生社会の実現をめざして

—わたしたちの31年—



2022年1月22日(土) 14:00~16:00

講師: 宋富子さん  
ソンフジャ



### 「一人芝居」のビデオと講演会 —「在日」は平和をつくる使者である—

1941年、奈良県の同和地区に在日朝鮮人二世として生まれる。1961年、結婚して川崎に住む。一男三女の母。1988年、「一人芝居」で、「戦争記念館」建設を訴え、募金活動。1991年、「高麗博物館をつくる会」に入会。「一人芝居」は通算475回上演。2001年、高麗博物館初代館長。現在、文化センターアリラン副理事長。高麗博物館名誉館長。

### 記念講演会

参加費 1000円  
定員 会場20~25名  
オンライン100名  
(3回とも同様)

2月19日(土) 14:00~16:00

講師: 五十嵐彰さん  
いがらし あきら

### 「返還する」とはどういうことなのか? —特に朝鮮半島由来の文化財をめぐる—

1961年東京生まれ、1985年慶応大院卒。現在東京都埋蔵文化財センター勤務、慶応大非常勤講師。韓国・朝鮮文化財返還問題連絡会議世話人。岩波ブックレット「文化財返還問題を考える—負の遺産を清算するために」著者。



3月5日(土) 14:00~16:00

講師: 徐京植さん  
ソキョンシク

### 在日韓国・朝鮮人の 昨日・今日・そして明日

—70年の個人史を振り返って考える—

作家・東京経済大学名誉教授。1951年京都市生まれ。在日朝鮮人3世(祖父が1928年に朝鮮半島から来日)1974年、早稲田大学第一文学部卒業。大学在学中の1971年に兄(徐勝、徐俊植)が留学中のソウルで、国家保安法違反容疑で逮捕される。2人は1980年代末に出獄。この間に両親が世を去った。2000年から東京経済大学教員に就任。主な著書は『私の西洋美術巡礼』『子どもの涙—ある在日朝鮮人の読書履歴』『ブリーモ・レーヴィへの旅』『在日朝鮮人ってどんなんひと?』『責任について—日本を問う20年の対話』その他多数。2012年7月第6回後廣金大中学術賞受賞(韓国・全南大学主催)

### 現代トピックヘイトスピーチを許さない 2021年10月~2022年2月

日本では2016年に「ヘイトスピーチ解消法」が施行されました。しかしいまだにヘイトスピーチは無くなりません。国連人種差別撤廃委員会から再三の勧告を受けながら、日本政府が差別を禁止する有効な法律を作れないのはなぜなのでしょう? 宮下萌弁護士に分かりやすくお話していただきます。

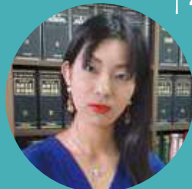
この展示を通じて、私たちにできることを一緒に考えていきましょう。

### 現代トピック講演会

参加費 1000円 定員 会場20~25名、オンライン100名

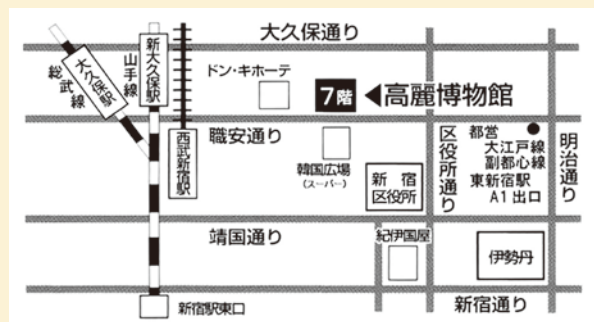
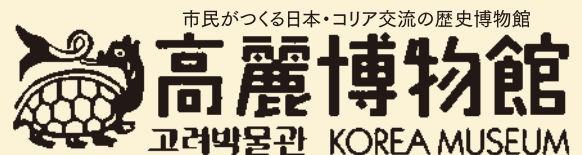
12月11日(土) 14:00~16:00

### 「なぜ日本には包括的差別禁止法がないのか」



講師  
宮下 萌 さん  
みやした もえ

弁護士(東京弁護士会)。国際人権NGOである反差別国際運動(IMADR)特別研究員。国際人権を活用した人種差別撤廃に関するロビー活動・アドボカシー活動を担当。活動内容としてヘイトスピーチ、人種差別とテクノロジー、レイシャルプロファイリング、ビジネスと人権、複合差別等。



\*ビルの1階はファミリーマートです